

台風6号で相模川神川橋下冠水

2011年7月20日(水) 18時00分～圃場調査 記:中門

1) 桂川・相模川流域協議会の環境調査事業について湘南地域協議会の活動状況を報告します。

2) 台風6号の影響で相模川流域も大雨で増水、相模川のダム放流もあり”カワラノギク圃場”も冠水しました。

”がんばろう、カワラノギク”

【圃場冠水-1】

・早朝(6:00)はダムの放流による増水で全面冠水した。鮎釣りの人が『どんな花が咲くのか楽しみにしている。心配だね』と声をかけてくれた。



【圃場冠水-2】

・全面冠水しても水が引くと直ぐに圃場が出るが伏流水の流入で低い所は水溜まりになってしまう。柵の紐にごみが残っている。



【圃場近くから伏流水が流入】

・圃場横の歩道は伏流水の流れ道になっていて、かなりの水量が流れている。



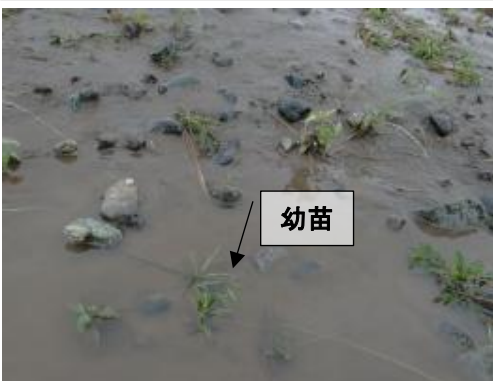
【残った泥の中に埋もれた幼苗】

・泥の中にも多くの幼苗が見えます。ある程度成長していると大丈夫そうです。4月中旬までに播種すればもう少し成長して耐えられるのでは！



【水と泥の中で幼苗が残っています】

・水たまりの中にもカワラノギクは残っています。水はけを良くして泥が残らないようにしたいですね。



【高いところは幼苗が多い】

・水はけが良い所は小石と砂交じりで幼苗が横になっているが大丈夫そうです。・・・**負けるな!**



【成長した幼苗は強い】

・大きく成長している幼苗は泥にも負けずあちらこちらで立っています。今年の秋が期待できるくらいです。



【自然には勝てません】

・泥を取ってやろうとしたが、かなりの量が溜まっているので除去は難しい。泥の中から栄養を吸収して欲しい。

